

ふるさとの
文化財探訪珪藻土と化石（双石）
なめいし

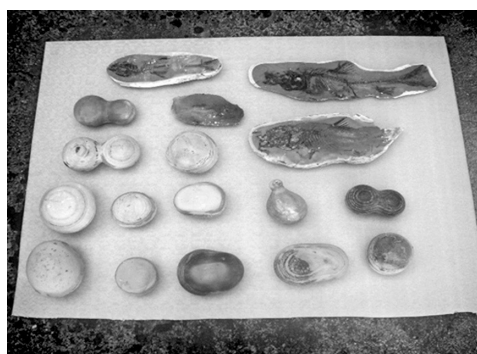
文化財調査員 衛藤 銑太

九重町は、良質な淡水産珪藻土と化石の出土で有名な事はご存じだと思ひます。私の住む奥双石を中心とする地域は、昔から珪藻土の採掘が盛んで、私も

父と一緒にツルハシとスコップで珪藻土を採掘した記憶があります。

珪藻土は、藻類（そうるい）の一種である珪藻の化石からなる堆積物です。太古の昔、玖珠盆地が湖であったころ湖の底に堆積し、大量の珪藻の殻が長い時間をかけて地層の一部になったのが珪藻土です。

珪藻土は、様々な産業分野で利用され、七輪や耐火煉瓦（たいかれんが）の原材料をはじめ、戦時中はダイナマイトなど火薬の原料や、食べられる土としてビスケットやパンの増量剤に使用されていました。最近ではビールのろ過材や、自然素材として建築物の塗り壁材やバスマットなど幅広く使用されています。珪藻土を採掘していると時々、石状の細長い化石や丸い化石が出土します。地元ではこの化石の事を双石（なめいし）と呼んでいます。細長い化石を半分に分けてみると主にコイやマスなどの淡水魚の化石が現れます。丸い化石は、貝、種子、昆虫などがよく出ます。化石は非



珪藻土の化石

常に硬く、きれいに半分に割るのは大変難しくなかなかきれいに割れませんでした。

化石のことをどうして双石（なめいし）と呼んでいたかは地域の人も詳しく知りませんが、奥双石という地名と何か関係があるのではないかと思います。

奥双石の町道沿いには大分県地質遺産マップで、別府・九重地溝群（活火山帯）で紹介されているジオサイトを見ることが出来ます。昔の自然状況とは違い道路が整備されたり、周辺の山など珪藻土の採掘が進み地域も様変わりしてきましたが、自然豊かなこの地域で生活する中で、珪藻土という希少な化石資源の土壌のうえにある地域として、これからも地質や地形を大事にしていきたいものです。

幸せになろうね



No.291

私に「男女共同参画」は関係あるの？

自分の性別が原因で理不尽に感じたことはありませんか？

- ・男なんだから仕事をしないと。
- ・女なんだから家事・育児をするのはあたりまえ。
- ・PTAに参加するのはお母さん。
- ・町内行事には男性が参加するもの。 などなど

このような、性別による固定的な役割分担の考え方は、個人が尊重されることが優先される今の社会では、昔からの価値観に縛られた理不尽な考え方といえます。

そんな理不尽をなくしていくため、つまり「男女

共同参画社会」を実現するために、国は1999年（平成11年）に、「男女共同参画社会基本法」を定めました。基本法の「参画」とは、単に「参加」という事ではなく、例えば、どんなイベントにしたいかを考えたり、決めたりという「意思決定への参加」という事です。

つまり男女共同参画社会とは、仕事、家庭、地域活動などの様々な分野で、男女のどちらかに負担や責任が偏ることなく、自分の希望に沿った形で活躍できる社会の事です。

九重町では、男女共同参画社会を実現するため、「女（ひと）と男（ひと）おもしろい心で笑顔あふれる町」を理念に掲げ、平成18年3月に「九重町男女共同参画プラン」を作り、現在は「新ここのえ男女共同参画プラン」として推進しています。

これまで、あたりまえに男性がしていたこと・女性がしていたことでも、一度立ち止まって考えてみると、そこに理不尽さや不条理があり、それが原因で悩み苦しんでいる人がいます。お互いが相手の立場になって考えてあげることができる、そんな思いやりの心で男女がともに輝ける社会の実現に向けて取り組んでいきましょう。

社会教育課

11月2日、コドクの様子



<秋の読書週間> 各種イベント大盛況！

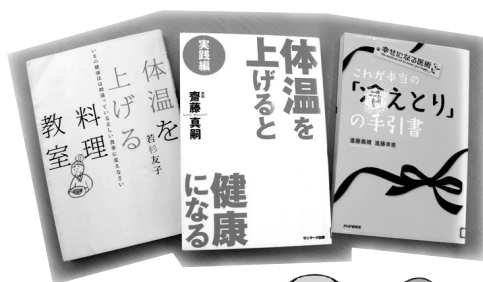
「リサイクル市」「読書の秋でコラボ!」「本で旅する大分県」「ココドク」と秋の読書週間イベントを開催しました。こうした催しがきっかけで図書館を利用する回数が増えたという声を聞きとても嬉しいです。「読書の秋でコラボ!」は11月29日(日)まで開催しています。展示されている本をかりるとクジ引きができる楽しいイベントです。ぜひ図書館へ！

「温活」をご存知ですか？



最近、コロナウィルスの影響で、毎日体温を計っているという方が増えたのではないのでしょうか。現代人の体温は昔の人に比べ基礎体温が0.5℃～1.0℃ほど低い傾向があるそうです。皆さんの基礎体温は何℃でしょうか？少し低いなぁと感じている方は「温活」をおすすめします。温活とは健康を維持するために適正な体温まで基礎体温を上げる活動のことです。食べ物で、運動で、マッサージで…いろいろな方法がありますよ。

図書館には温活のヒントになる本がたくさんありますので、ぜひお尋ねください。これから益々寒くなってきます。身体を温め免疫力を上げて、コロナウィルスやインフルエンザを撃退しましょう！



●「おはなし会」毎月第2土曜日 10:30～11:00

11月のボランティアグループは「スター」の皆さんでした。12月のグループは「おちトマト」の皆さんです。(12月12日予定)絵本を読んでもらうのは子どもだけでなく大人にとっても心地よいものです。ぜひ親子で楽しんでください♪お待ちしております。

●図書館の利用カードを作る際は身分を証明できるものをご提示していただいています。九重町の方ならどなたでも作れます。詳しくは九重町図書館カウンターにて。



◀10月の
おはなし会の様子



新刊・新着図書案内

～図書館の利用カードはお持ちですか？すぐに作れますのでお気軽にどうぞ～

●児童書・コミック

くれよんぐりぐり 新井洋行
お気に入りのえりまき くげなつみ
ポコンペンペンぱけがっせん ザ・キャビンカンパニー
おばあちゃんのおうち はせがわさとみ
銭天堂14 廣嶋玲子
あっくんはたべられない あっくん、高橋智
ONE PIECE 97巻 尾田栄一郎

●一般図書

焦茶色のナイトガウン (杉原爽香シリーズ 33 巻) 文庫 赤川次郎
乱癒えず (新・吉原裏同心抄③) 文庫 佐伯泰英
紅雲町珈琲屋こよみ シリーズ①～⑦文庫 吉永南央
幽霊終着駅 (ターミナル) 赤川次郎
半沢直樹アルカンと道化師 池井戸潤
灯台からの響き 宮本輝
赤ずきん、旅の途中で死体と出会う。 青柳碧人
風と琴 高草洋子
虜囚の犬 榎木理宇
電話をしてるふり バイク川崎バイク
理由のない場所 イーユン・リー
文豪たちのずるい謝罪文 山口謠司
ダンナさまは幽霊 4 流光七奈
自分の気持ちかわからない沼から抜け出したい 田中よしこ
死の教科書 五木寛之
マインドフルネス「人間関係」の教科書 藤井英雄
ならずもの 森功

心揺るがす講演を読む 水谷もりひと
経費になる？ならない？知って得する領収書の本 出口秀樹
嫌われるジャーナリスト 田原総一郎、望月衣塑子
災害を知る オオタヤスシ
ルポ車上生活 NHKスペシャル取材班
大学受験案内 2021 晶文社学校案内編集部
だから、もう眠らせてほしい 西智弘
マンガ認知症 ニコ・ニコルソン
傾聴力 大津秀一
ストレスの9割はコントロールできる 鎌田敏
「自律神経」を整えると心と体の不調が消える！ 菅原道仁
医者が教える疲れしない人の脳 有田秀穂
眺望絶佳の打ち上げ花火 金武武、日本煙火協会
おうちでできるヘアカット 主婦の友社編
世界一効く美顔づくりの教科書 木村祐介
やせるのに必要な最小限エクサ 今野拓也
あの人が着ると、パーカーがなぜおしゃれに見えるのか 川邊サチコ、美木ちがや
医者もすすめる万能おかゆ 田谷光一
極上ずばら飯 だれウマ
60過ぎたらコンパクトに暮らす 藤野嘉子
今さら聞けない農薬の話きほんのき 農文協編
今さら聞けない肥料の話きほんのき 農文協編
咲かせたい！四季の宿根草で庭づくり 荻原範雄
簡単！楽しい！はじめてのスマホアプリ完全ガイド かじがや卓哉
クワパカ 中村計



「筑後川」をテーマに、源流域の九重町から有明海までをフィールドとしたふるさと探検クラブ。今年は活動の中止や変更を余儀なくされました。特に豪雨災害では見学を予定していた右田井路や通水橋も大きな被害を受けました。ふるさと探検クラブでもふるさとの川との共存について学び、考えていきたいと思ひます。

予定より回数は減りましたが、その分子どもたちの笑顔いっぱい活動になりました。



8月20日 場所を急きょ変更し、自然学校の池で魚釣り。残念ながら成果はゼロでした。午後からは飯田の湯坪川で生きものしらべと川遊び。川の形状が変わるなど豪雨のつめ跡が見られましたが、川の生きものもたくさん見られました。ようやく自然の中で思う存分活動できました。



9月5日 朝日長者伝説ゆかりの湧水を巡りました。水は冷たくて美味しかった！伝説が今の私たちに教えてくれることについても考えました。さらに九重青少年の家に流れる小川で生きものさがし。綺麗で冷たい水に棲む生きものがたくさん見られました。九重の源流の美しさを実感。



9月22日 くるめウス（久留米市）にて、カヌー体験と水の安全講座。講師からマンツーマンでレクチャーを受け、筑後川に漕ぎ出します。あっという間に上達する子どもたちも。筑後川の川幅の広さを体験したあとは、支流の高良川で生きものさがしと川流れを満喫。九重とつながる自然を身近に感じた体験でした。

* ふるさと探検クラブは平成27年度より継続して九重町、九重町教育委員会、九重ふるさと自然学校の共催で実施している人材育成事業です。町内の小学生を対象に、筑後川を題材として自然や人のくらしに思いを馳せられる人材を育成することを目的にしています。

* この活動は大分県「令和2年度おおいたこども探検団推進事業」として実施しました。